

創造都市施策の進捗状況について

1 東アジア文化都市 2014 横浜

(1) 事業の進捗状況

ア 事業コンセプト

開港以来横浜が培ってきた創造性を発揮しながら、以下の3点を柱とし、「横浜から共に創る新しい力～コラボレーションがイノベーションを興す～」をコンセプトに事業を進めます。

- ・横浜の気風ともいえる新しいものを受け入れつつ、さらに新しいものを生み出す先駆性・開放性
- ・中国・韓国を始めとする東アジア諸国や国内他都市との交流・協働
- ・観光の振興、産業の活性化につながる事業展開で創り出す賑わい・経済効果

イ ロゴ

事業を広く一般に広報 PR するためのロゴを制定します。

日中韓3か国それぞれの文化が出会い、交わることにより、新しい価値を創り出し世界へ発信する姿を交差する3色のストライプで表しています。

また、ブルーは「オープンネス」、ピンクは「コラボレーション」、グレーは「イノベーション」を表しています



(2) 今後のスケジュール

平成 26 年 2 月 25 日	オープニング式典・オープニングイベント (パシフィコ横浜)
平成 26 年 9 月頃	日中韓芸術祭
平成 26 年 9 月～10 月	トリエンナーレ開催期間中に文化芸術イベントを集中的に実施する「コア期間」
平成 26 年 12 月	クロージング式典・クロージングイベント

※コア期間を中心に、下記のような事業を実施していきます。

ア 横浜ならではの魅力や文化的資産を活かした事業

例：夜景創出や野外コンサートなど

イ 交流・協働事業

例：アーティスト・イン・レジデンスや日中韓の学生同士の共同製作など

ウ 賑わい創出事業

例：クールジャパン戦略に沿う事業やエンターテインメント系事業など

エ パートナー事業

例；市民や民間企業などが企画し実施する事業との広報連携など

2 ヨコハマトリエンナーレ 2014

(1) 事業の進捗状況

ア 作家作品の選定状況

現在、横浜トリエンナーレ組織委員会が前回展（2011年）と同数程度の作家の展覧に向け調整を行っています。

【参考：2011年展 77組（79作家）】



イ まちにひろがるトリエンナーレ

創造限界拠点や地域、市民の皆様と協働して、来場者の回遊性を高め、まち全体の賑わいを創出します。

- ・創造限界拠点連携（広報、アクセスの連携等）
- ・応援企画（企業が開発する「応援グッズ」や文化芸術をテーマに活動している団体等が開催する「応援プログラム」等）
- ・会場周辺商業施設や商店街とのタイアップ

ウ 市民協働

市民協働事業として、横浜トリエンナーレと一緒に盛り上げ、応援する横浜トリエンナーレサポーターを育成し、共に活動しています。

1,155人（12月1日現在）の方に登録いただいています。

《今年度実施のサポーター事業》

- ・広報用フリーペーパー「ヨコトリーツ」の発行
- ・トリエンナーレ開催300日前、200日前カウントダウンイベントの開催 等

(2) 今後のスケジュール

平成25年12月23日	プレイベント 第1弾「スペシャルトークイベント」
平成26年1月中旬	トリエンナーレ開催200日前イベント（サポーター事業）
2月中旬	プレイベント 第2弾
4月頃	第4回記者会見（全作家の発表、チケット概要 等）
4月中旬	トリエンナーレ開催100日前イベント（サポーター事業）
8月1日～11月3日	ヨコハマトリエンナーレ2014開催

3 創造的産業振興モデル事業

(1) 事業の進捗状況

都心部に集積を進めてきたアーティスト・クリエイターと、市内中小企業双方の意欲的で創造的な活動を支援し、新たなビジネス機会の創出や創造的産業の振興につなげるため、今年度から「創造的産業振興モデル事業」に取り組んでいます。

現在、コーディネート为中心的役割を担う「マッチングコーディネーター」を選定し、市内中小企業へのヒアリング等を行っています。

[マッチングコーディネーター・リーダー]

田中 陽明 (たなか はるあき) 氏

経歴等

- ・春蒔(はるまき)プロジェクト㈱ 代表取締役
- ・広告やカタログ、ウェブデザイン、インテリア、アートなどの分野で、クリエイター同士のコラボレーションによる商品開発をプロデュース。
- ・制作に関わった商品は、グッドデザイン賞などを受賞している。

(2) 今後のスケジュール

今年度は、新商品・新サービスにつながるよう、アーティスト・クリエイター及び市内中小企業等を構成員としたモデルプロジェクトづくりに取り組みます。

次年度以降は、モデルプロジェクトを支援し、構成員相互にメリットがある付加価値が高い商品やサービスの開発につなげます。

